

企画展

大工さん展 近世の職人文化とその伝統

Daiku:

A Japanese Carpenter—Modern Craftsmanship Culture and Traditions



1 | 印半纏

開催情報

名称	大工さん展 近世の職人文化とその伝統
会期	2020年1月11日(土)～2020年3月1日(日)
会場	竹中大工道具館 1F ホール
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料	一般500円、大高生300円、中学生以下無料、 65歳以上の方200円 ※常設展観覧料を含む
主催	竹中大工道具館
協力	大阪市立住まいのミュージアム、神戸芸術工科大学、竹中工務店
公式サイト	https://www.dougukan.jp/special_exhibition/daikusan

お問い合わせ

「大工さん展 近世の職人文化とその伝統」広報事務局(竹中大工道具館内)
〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1
TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713
E-mail: daikusan@dougukan.jp

開催趣旨

時代劇や落語の世界をいろどるさまざまな町人たち。なかでもおなじみの職人といえば大工です。落語の熊さん八つあんに代表されるように、おっちょこちょいで、ふとしたことから騒動を巻き起こしたり、人情味にあふれていたり。人々は親しみを込めて彼らを「大工さん」と呼んでいました。

本展ではそんな「大工さん」が活躍した江戸から明治大正にかけての職人像に焦点をあてます。衣食住といった日常の暮らしや、仕事場での姿を通して、職人が築き上げてきた独特の世界を紹介します。また会場内では当館製作のオリジナル落語（小噺）をアニメーションでリメイクして上映します。

本展覧会は神戸市立博物館「建築と社会の年代記 竹中工務店 400年の歩み」展との連動企画です。会期中の土曜日、日曜日、祝日のみ、当館と神戸市立博物館をつなぐバスを無料で特別運行します。

展示の見どころ

歴史資料で追う奥深い職人の世界

竹中大工道具館所蔵の民俗、文献、映像資料からよりすぐり、実際の大工の暮らしや仕事の姿を解説します。



2 | 江戸時代の大工が用いた教科書

アニメーションで知る落語の中の大工の姿

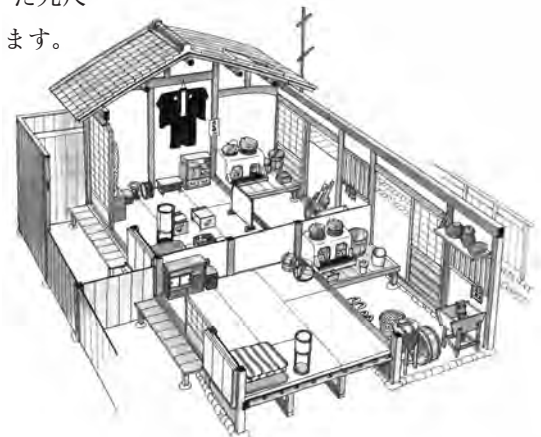
音声だけではイメージしにくい落語の中の大工の姿を神戸芸術工科大学とのコラボレーションで製作したイラストとアニメーションで、面白おかしく表現します。



3 | 大工熊さんのイメージイラスト

大工の暮らしを紹介する長屋の姿を再現

実際に江戸時代の職人たちが住んでいた九尺二間の長屋を^{くしゃく}実物大の大きさで再現します。



4 | 九尺二間長屋再現イメージ図

主な
展示
品



5 | 大工が独特のデザインを凝らした墨壺



6 | さまざまな道具を持ち運ぶための道具箱



7 | 印半纏 (2)



8 | 戦前の大工

関連
イベ
ント

※イベントの日時・内容は変更になることがあります。
最新の情報は「大工さん展-近世の職人文化とその伝統」公式ウェブサイトにてご確認ください。

セミナー

「技と心」セミナー [97] 大工の暮らしと仕事

日時	2020年2月24日(月・祝) 13:30～15:00(13:00開場)
場所	神戸芸術センター会議室 (神戸市中央区熊内橋通7-1-13)
講師	谷 直樹(大阪くらしの今昔館館長)
定員	80名 (事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費	無料(竹中大工道具館入館の場合、別途入館料が必要)
申込締切	2020年1月31日(金) 必着



関連
イベ
ント
申し
込み
方法

ウェブサイトまたは往復はがきに下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブサイト

公式サイト (https://www.dougukan.jp/special_exhibition/daikusan) 内よりお申し込みください。

はがき

往信用裏面 ①イベント名(ご希望日時も)②参加者氏名(フリガナ)
③郵便番号・住所④電話番号⑤年齢

返信用表面 宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
裏面は未記入のこと。

〔申込み先〕 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。

当館のご案内



日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。

常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。

また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。

シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

アクセス



山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
 市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
 シティ・ループ「12 新神戸駅前(2F)」下車徒歩約3分
 神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

広報用画像

- ・画像データ1~8 (JPEG) をご提供いたします。メールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

お問い合わせ

「大工さん展 近世の職人文化とその伝統」広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713

E-mail：daikusan@dougukan.jp

- ・読者プレゼントとして本展図録5部または当館招待券ペア（2枚）5組を提供することができます。
- ・その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。